

市政記者各位

令和5年6月1日

福岡市博物館では、「福岡大空襲」の日にあわせ 企画展示「戦争とわたしたちの暮らし32」を開催します。

昭和20年(1945)6月19日、福岡は空襲により大きな被害を受けました。これにあわせ、企画展示「戦争とわたしたちの暮らし32」を開催し、戦時期の福岡の暮らしに関する博物館資料の公開を行います。是非周知していただくとともに、ご取材いただきますようご案内いたします。

福岡大空襲とは？

昭和20年(1945)6月19日深夜から未明にかけて、アメリカ軍の長距離爆撃機B-29が福岡地方に飛来し、大量の焼夷弾を投下しました。福岡市の中心部は焼け野原となり、特に博多部は甚大な被害を受けました。

博物館では平成3年からこれまで、この6月19日を含む日程で、毎回テーマを変えて企画展示「戦争とわたしたちの暮らし」を開催しています。



福岡大空襲後の福岡市の写真

左) 天神地区

右) 博多部

企画展示「戦争とわたしたちの暮らし32」

企画展示「戦争とわたしたちの暮らし32」では、戦時中の子どもの生活を中心に紹介します。少年団の活動記録、双六、紙芝居、教科書、写真など約60点の館蔵資料を展示します。近年収集した資料として、春吉国民学校(現 春吉小学校)の生徒が描いた絵など20点を初公開します。

(1) 会 期：令和5年5月30日(火)～7月9日(日)

(2) 場 所：福岡市博物館2階 企画展示室1

(3) 料 金：一般200円、高大生150円、中学生以下無料

※常設展示室・企画展示室共通



博多上魚町少年団写真



子どもを描いた紙芝居



春吉国民学校生徒が描いた絵

■お問い合わせ先 福岡市博物館 学芸課 松村・野島

電話 092-845-5011 FAX 845-5019 〒814-0001 早良区百道浜 3-1-1